

第2回

漢感興起

かんかんこうき

～巷に生きる漢字あれこれ～

「観感興起」…目で見、心に感じ、感動して奮起すること。
(漢検四字熟語辞典より)

さまざまな立場を通して感じる、またそれぞれの角度から観ると、漢字の姿は一様ではないようです。このコーナーでは、漢字と特別な関わり合いを持つ人を取り上げ、その人ならではの「漢字模様」について伺います。

今回は、非漢字文化圏の国々からお越しのネットワーク会員にスポットをあてました。

彼らの目に、漢字や日本語はどのように映っているのでしょうか。

右から
静岡県 ブレット・メイヤーさん(30)
(平成24年度第2回検定で一级に合格)(以下、「B」)

●ご出身…アメリカ(日本に来て5年目) ●ご職業…翻訳業

山形県 ダニエル・ピアースさん(25)
(平成23年度第2回検定で準一级に合格)(以下、「D」)

●ご出身…ニュージーランド(日本に来て5年目) ●ご職業…外語指導助手

神奈川県 ジョン・プロブストさん(32)
(平成23年度第2回検定で準一级に合格)(以下、「J」)

●ご出身…アメリカ(日本に来て6年目) ●ご職業…英語の先生



B…日本語は文字が難しいけど、発音はフランス語や中國語よりも易しいです。発音が限定されているから、わりと覚えやすいかな。でも聞き取りは難しい。みんな早く口で、分かりませんでした。

D…私はJETプログラム(※)の参加者で、外語指導助手として派遣された先が山形でした。庄内地方に住んでいるので庄内弁ですが、内陸の言葉は全くわかれません。まあ庄内弁も難しいですけれど(笑)。

～そんな日本語の難しかったところは?～

J…高校の時はフランス語を勉強していたけど、真面目じゃなくて…。大学の言語専攻でも、やっぱりフランス語はできなかつたんです。そこで、いつたんリセットして日本語を始めてみるとことになりました。アメリカに輸入されていた日本のゲームが好きだったこともあります。

J…高校の時はフランス語を勉強していたけど、真面目じゃなくて…。大学の言語専攻でも、やっぱりフランス語はできなかつたんです。そこで、いつたんリセットして日本語を始めてみるとことになりました。アメリカに輸入されていた日本のゲームが好きだったこともあります。

B…高校生の時、友人から日本のアニメやドラマを見せてもらつたことです。当然、何を言つているのかは分からず知りたいと思ひ勉強を始めました。

D…日本のアニメなどはニュージーランドでも放送していましたが私は違います。大学一年目に言語を専攻しなければならず、なんとなく日本語を選んでしまつたのですが、勉強を始める面白かつたんです。そのまま続けて日本学を専攻し、歴史なども勉強しました。

J…高校の時はフランス語を勉強していたけど、真面目じゃなくて…。大学の言語専攻でも、やっぱりフランス語はできなかつたんです。そこで、いつたんリセットして日本語を始めてみるとことになりました。アメリカに輸入されていた日本のゲームが好きだったこともあります。

B…ひらがな・カタカナは書くだけで覚えられましたが、漢字はとても難しかつたです。漢字を絵に例えて、例えば「火」は「Fire」が燃えているような形、「止」はおまわりさんが手を突きだしして「Stop」と言つていのその手の形、そのようにまず形と意味だけを覚えていきました。読みや熟語などは、後から分けて勉強しました。

D…漢字は形が面白いですからね。私は「柳」が好きです。そのバランスや、本物に似ているところが。

J…漢字は画数が多いほど面白いですね。

D…ただ、意味も読み方も多いことが壁でした。日本に来てから、James Heisig氏の外国人向け漢字勉強法に出会つたのですが、それがとても覚えやすくて。まず漢字の形と意味をひとつだけ学び、後から読みを習得する方法です。偏や旁もよく出てくるものを見えて、それらが組み合はさつていてる実際の漢字は、ストーリーを作つて覚えました。

J…私の場合は、一つに決めないでさまざまな勉強法を試してみることが一番だと思っています。それぞれの勉強法にはいい悪いがあるのですが、一つの勉強法ばかりになつてしまつたら、その勉強法の弱点が自分の弱点になつちやうから。だから私は、一つ一つ字を書いたら、二三手のゲームをやつたり、飽きたら次の方法に変えるようにしています。今はiPadで「Anki」というアプリに

～本日はお集まりいただきありがとうございます！～

ざいました！非漢字文化圏に生まれ育つ皆様が、なぜ漢字に魅せられたのかお話を伺いたいのですが、その前に…ブレットさん、「級合格おめでとうございます！」

B…ありがとうございます！でも、一級は合格で終わらない、合格から始まるという感じがしますね。

B…ありがとうございます！でも、一級は合格で終わらない、合格から始まるという感じがしますね。

(※) JETプログラム…日本の中学・高校生の外国語教育の一環として、

外国の青年を日本に招く事業。



Ankiアプリを扱うジョンさん



プレットさんのノート表紙

一万八千件の問題を入力して解いています。四字熟語、当て字、読みには例文もつけて、人力だけでも時間がかかりました。間違った問題は繰り返し出題される機能があります。

D：私もAnkiは使っています。学校でも生徒に使わせていました。

J：よかつたらデータあげますよ。

B：それに比べて私の勉強法は古臭いです（笑）。分野別にノートを作っています。題字などが変でしょうね？同じ事を勉強し続けていると頭が痛くなるので、ちょっとふさけるのも必要です。書くのは楽しいから、そんなに苦しくならない。ページが字でたくさん詰まっている様子とか、ページをめくるとパリパリする感触が心地いいです。

D：ちょっとやり方は違いますが、私もノートに一字ずつ書き取っています。日本の生徒より字が上手？そう

言われますね（笑）

J：でも、その逆もそうですよ。私も英語の文字を書くとそんなに綺麗じゃなくて、多分生徒の方が上手…。

B：手で書くと、その字のリズムを感じることができます。その字が頭で思い出せなくとも、手がそのリズムを覚えているので、誤った字を書いた時に違和感があつて気付くこともあります。

D：書くのは楽しいですよ。全然苦しくないよ。

J：趣味みたいなもの（笑）

B：漢字学習で辛いのは、手が腱鞘炎になりそうになるくらいかな。

J：たまに頭痛はしますね。長時間勉強してると…。

B：他に、ツイッターで四字熟語や諺に英語の意味を添

えて更新しています。別の言語でも説明ができるように、また、人に理解させることができるように深く調べるべると、一段と身につきます。

— 最初は苦労していたけれど、結果的にここまで漢字を極めるに至ったその原動力は何だったのでしょうか？

J：やっぱり漢検に合格するのが嬉しいからですね。本屋で漢検の書籍を見て、これなら合格できそうだと思った6級からスタートしたのですが、その時は別に1級まで目指そとは思っていませんでした。途中で飽きるか難しくなるかと思っていたのですが、まだ気持ちが続いている、休まずに受検できています。準1級は何回か落ちましたが…。

D：周りの人より漢字が書けるようになつたことは嬉しいですね。同僚の先生からも漢字について聞かれることもあります。学校で年3回漢検をやっているのですが、私は最初から2級を目指していましたし、生徒と一緒に挑戦できただこともあって、かつてよく2級から受検することになりました（笑）。生徒からも絶賛されましたね。

B：書くのも楽しいし、新しい字や熟語に出会うのも全て面白いです。ただ、最近まで気づいていなかつた面白さは、昨日、ホテルでジョンさんと会って、ついに同じ国出身で、同じ勉強をしている人とテストの内容を相談できること！近所の人は検定問題を見て、「何も読めない！日本人でも分からぬよ」と、終わり。でもジョンさんとなら「この問題どうしましょ？」なんて話せて楽しかったです。もちろん英語で話しあっているんですけど（笑）

J：盛り上がりましたね。

— やはり、仲間がいることは励みになりますね。

J：やはり、仲間がいることは励みになりますね。

B：日本語と英語の違いとは？言葉から見える日本人の姿つて？

J：日本語の、主語が「わたし、ぼく、おれ」のようにいくつかあるのは、最初は面倒でした。でも自分のことを何と呼ぶか自由に選ぶことができるのに、細かいニュアンスで使い分けられますね。

B：社会のルールが言語とよくつながっている気がしますね。例えば一人称を選ぶにしても、地位や話し相手により変えたり、手紙を出すときも、封筒が用意されいたら「御」や「様」を消したり…。

J：アメリカにはそんなルールはないですね。日本語では自分のことを「プロストさん」とは言わないですが、英語では自分を「Mr.Brost」表現することはあります。他にも、日本語には挨拶の「お疲れ様です」とか決まり文句が多い気がしますね。西洋の方はないですよね？

B：ないです、あつても人によりますね。

D：西洋の国の中ではユージーランドが、最も日本の考え方を似ているように思います。ユージーランドは西洋の中でもちよと控え目だといわれますね。言語となると、丁寧な言い方もありますが、日本に比べると丁寧語そのものは少ないです。しかし面白いのは「出る杭は打たれる」という言葉。ニュージーランドでは全く同じ意味で「Tall poppies are cut down（背の高いひなげしは切られる）」という諺があります。目立つのは



そんなに良くないという日本と似た考えですね。でもこれは、他の西洋諸国からは控え目すぎると非難されています。同じ英語圏でも違いますね。

— 実際に日本に住んで 生徒や近所の方などの生の日本語を聞いてどう感じますか?

J : 若い人の言葉を初めて聞いたときは 教科書に載つてないから何を言つているのか分かりませんでした。「「じやん?」って聞こえたら、私の名前 John」かと思つて振り向くふむありましたね。

B : 私は奥さんのお母さんの発言が面白くて好きですね。気合いを入れるときには「よひよひよひよひよ!」とか、雷が鳴ると「くわばらくわばら」とか。教科書に載つていなくても、使うのが楽しい言葉をたくさん習いました。隠れている宝石のような、こんな言葉を見つけると嬉しいですね。

D : だいぶ慣れきましたが、生徒達の言葉も最初は分からなかつたです。しかもブームになる言葉がものすごいペースで変化していくます。

J : 逆に、現在の英語では「How are you?」などはめつたに使いませんね。

D : 母国の言葉も変わっていきますね。日本に来て5年、母国に帰ったのはたつたの2度でしたが、喋り方が変わつていました。あれ?こんな言葉を使っていたつけ?と思うことも…。



— どの国でも、言葉は変わっていくものですね。
D : そうだからこそ楽しみもありますね。

— これから日本でやつてみたいことはありますか?

D : やっぱり一級合格かな。あとは大学院に行って、英語教授法の勉強をし、資格を取りたいです。

J : 私の場合は、一級合格ははもちろんのですが、一度漢字のクイズ番組にこの外国人チームで出てみたいですね!

B : 家で漢字のクイズ番組を見ていると「全部知ってる!」なんて思うけど、家と本番では全然違いますよね(笑)。でも日本人VS外国人でいつかテレビに出たいですね!

他には、漢字の知識を深めて、漢字の興味関心をみんなに広めて、自分の漢字講座を開いてみたいですね。いろいろチャレンジしたいことはありますから、やめずに進むことが一番大事だと思います。

J : さすが一級!

B : ただし、いだけです(笑)

— では、好きな日本語、座右の銘を教えて下さい。

D : 「勿怪だの〜」です。庄内地方の言葉で、「勿怪の幸い」からきている言葉です。自分ではなく相手がしてくれたことに対して、「勿怪なこと=思いがけないことをしてくれた」から「恐縮です」、「ありがとうございます」等といろんな使い方をします。すくなく気持ちが込もつた言葉で気に入っています。これこそ最初は全く分からなかつた言葉ですが…。

B : 「時かぬ種は生えぬ」ですね。一級への挑戦は、知識のみではなく私の人生をも広げました。一級合格という見たことのない花が咲いたのも、「挑戦」という種を時

いたからです。

※

J : 「破龍千里（ぱくともせんり）」です。努力をすれば能力の劣る者でも成功するたとえです。漢検の勉強中に知った言葉ですが、意味を調べて良い言葉だと感じました。

— それその想いがこもつた言葉ですね。ありがとうございました。
J : いたからです。

インタビュー後記

漢字のない国に生まれ育つた彼らが心を奪われた、日本と漢字の魅力はいったい何なのだろう?といつ疑問から始まつた今回のインタビュー。物心ついたころから漢字に囲まれていた私たちと違い、彼らにとっての漢字は、まるで理解不能な文字だったのでしよう。まず形を覚え、意味を覚え、そして読みや使われ方を覚える。いくつもの過程を経て、やつと一つの漢字を習得する彼らの一級・準一級への道のりは、日本人の何倍も険しいものでした。だからこそ、面白い漢字の形や、ちょっとした日本語の言い回しに気つき、心を躍らせる姿は、私たち日本人が忘れていた「日本語に接する時の純粋な感覚」といったものかもしれません。

それでも、夢中になつて漢字を書き、ほつと一息ついた時の手のしびれ、残したノート、そして合格したときの例えようのない喜びと漢字への愛情は、私たち日本人と何も変わらないと思いました。



※部に誤植がありました。
誤「破龍千里」→正「跋龍千里」